

オルガノ株式会社

2021年3月期 上期決算説明会

(証券コード : 6368)

2020年11月6日

目 次

1. 2021年3月期 上期実績
2. 2021年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

目 次

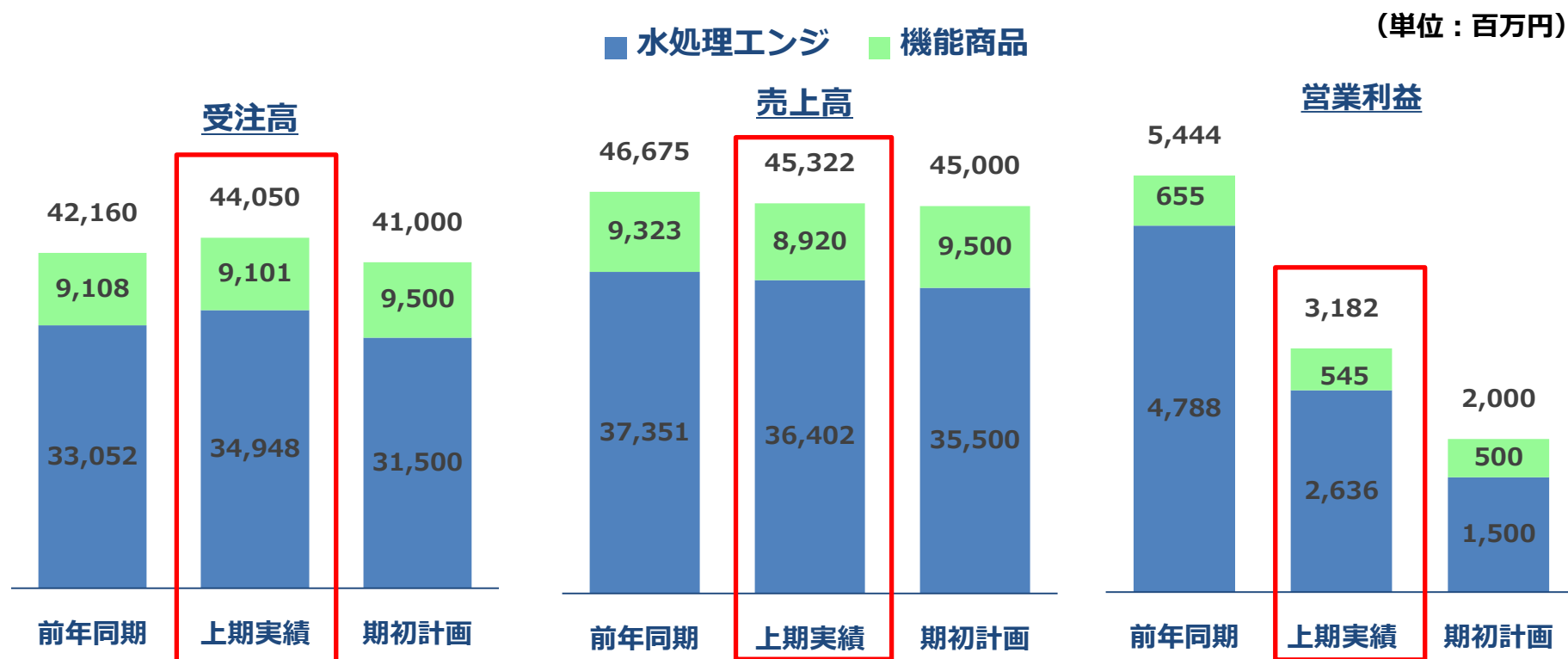
1. 2021年3月期 上期実績
2. 2021年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

21年3月期上期実績：コロナ禍の影響

電子産業 分野	・ テレワークの拡大など半導体需要の高まりで堅調に推移 ・ 台湾では先端半導体向けの大型投資が続くなど好調継続
一般産業 分野	・ 設備投資の抑制が影響。前期に大型案件があった反動もあるが、受注高は前期比で大幅に減少
電力・上下水 分野	・ 大型のメンテ工事などに若干遅れがみられたが大きな影響なし
機能商品 事業	・ コロナ禍の影響が大きい自動車・外食産業や一般診療・検診など医療機関向けの販売が減少 ・ 電子産業向けの水処理薬品、フィルターや消毒用の微酸性電解水「オルプラス」などは好調に推移

21年3月期上期実績：概況

- ・ 受注高は水処理エンジニアが台湾中心に電子産業分野で受注拡大
- ・ 売上高は機能商品がコロナ禍影響。水処理エンジニアは電子産業中心に堅調
- ・ 営業利益は水処理エンジニアが採算性良い案件が集中した前期比で減少も計画達成



21年3月期上期実績：損益計算書

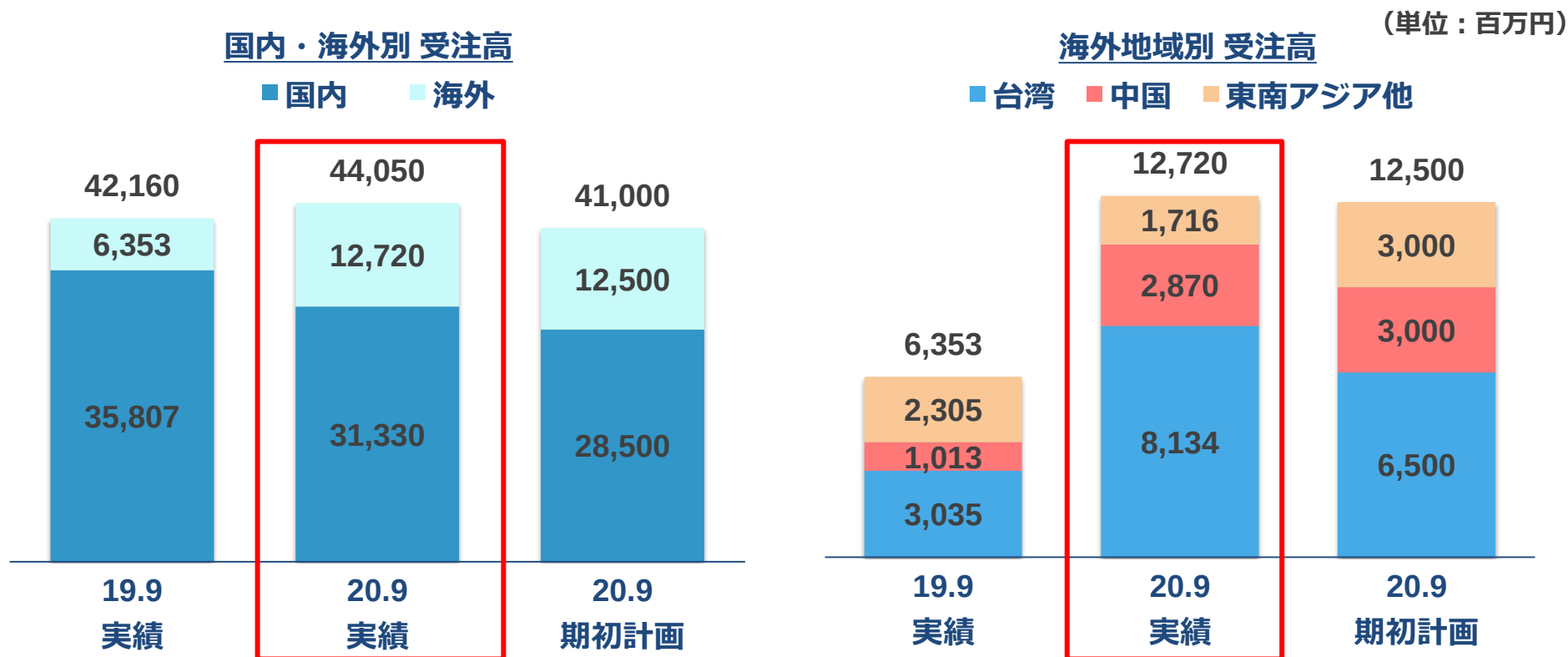
(単位：百万円)	19.9 実績	20.9 実績	20.9 期初計画	前期差	計画差
受注高	42,160	44,050	41,000	1,890	3,050
売上高	46,675	45,322	45,000	-1,353	322
売上総利益 (%)	13,792 29.5%	11,359 25.1%	11,000 24.4%	-2,433 -4.5pt	359 0.6pt
販管費	8,348	8,176	9,000	-171	-823
営業利益 (%)	5,444 11.7%	3,182 7.0%	2,000 4.4%	-2,261 -4.6pt	1,182 2.6pt
経常利益	5,317	3,276	1,950	-2,040	1,326
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,640	2,080	1,200	-1,559	880

21年3月期上期実績：受注高の状況（地域別）

・ 上期受注は台湾・中国など海外中心に増加

国内はコロナ禍で一般産業・機能商品分野が減少も電子産業が堅調

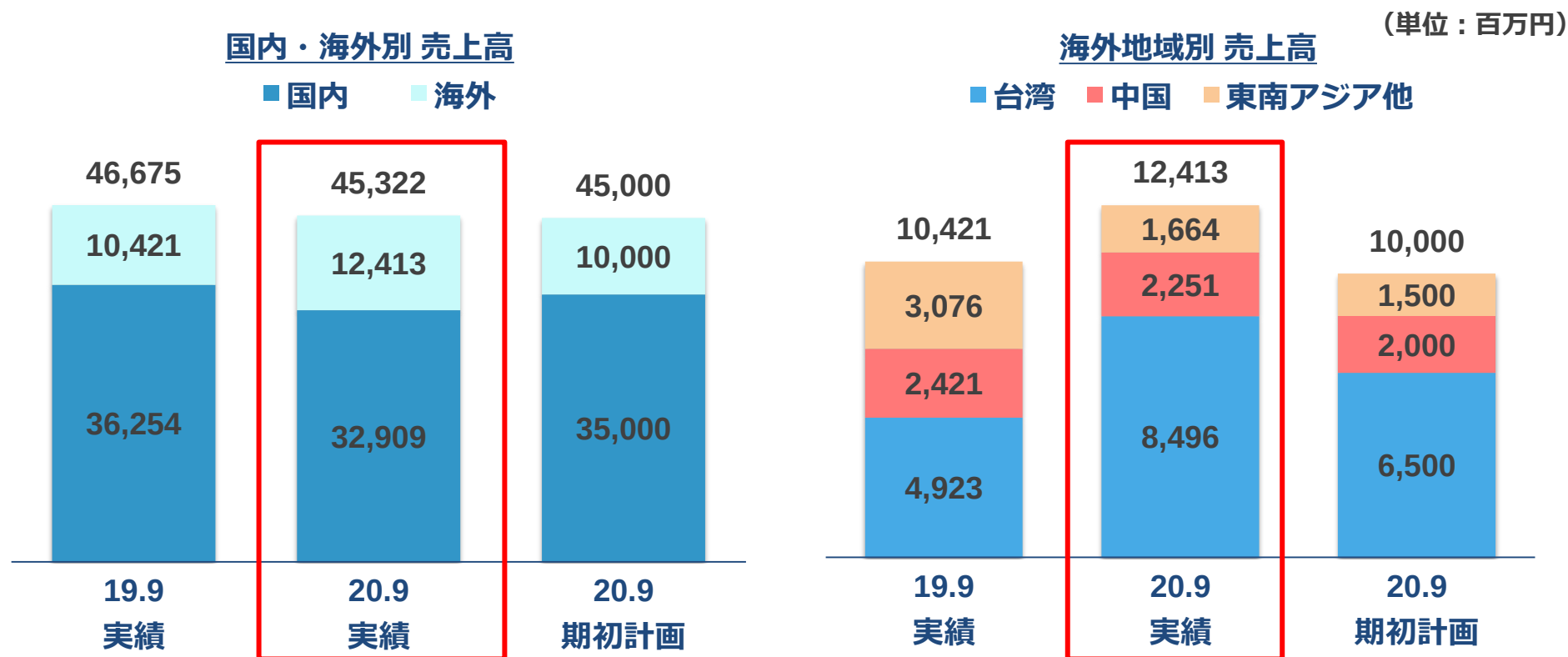
海外では東南アジアが減速も台湾・中国で電子産業が伸長



21年3月期上期実績：売上高の状況（地域別）

・ 上期売上は国内減速も台湾の大幅伸長でカバー

国内は前期に大型案件の計上があった電子産業分野に加え、コロナ禍の影響で一般産業・機能商品が減速。海外は台湾が電子産業分野で拡大



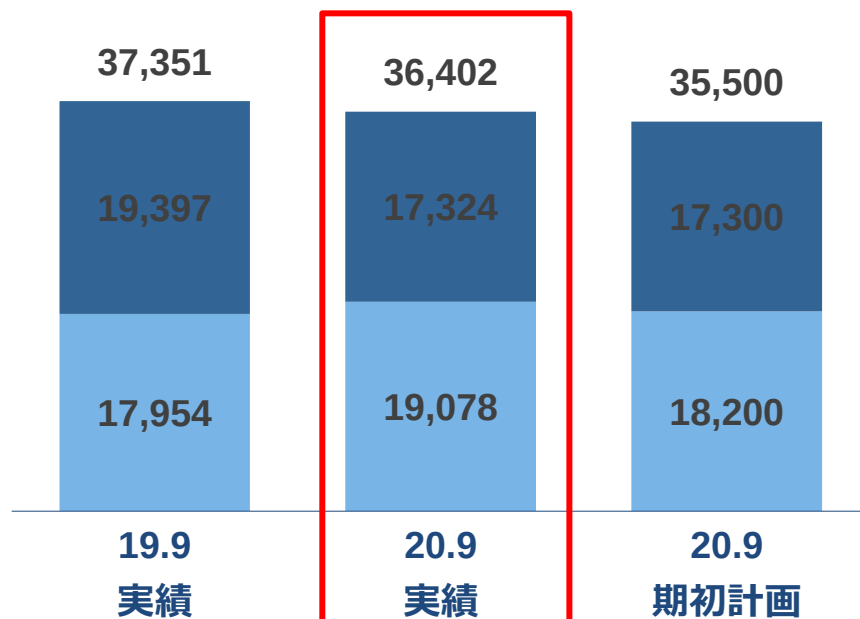
21年3月期上期実績：水処理エンジニア事業の状況

- 水エンジは電子産業分野の伸長で計画並の売上を達成
プラントは大型案件あった前期に比べ減少。ソリューションは堅調に増加
電子産業は台湾が好調。一般産業はコロナ禍の投資抑制でスローダウン
電力・上下水も大型の案件がなく売上減少

(単位：百万円)

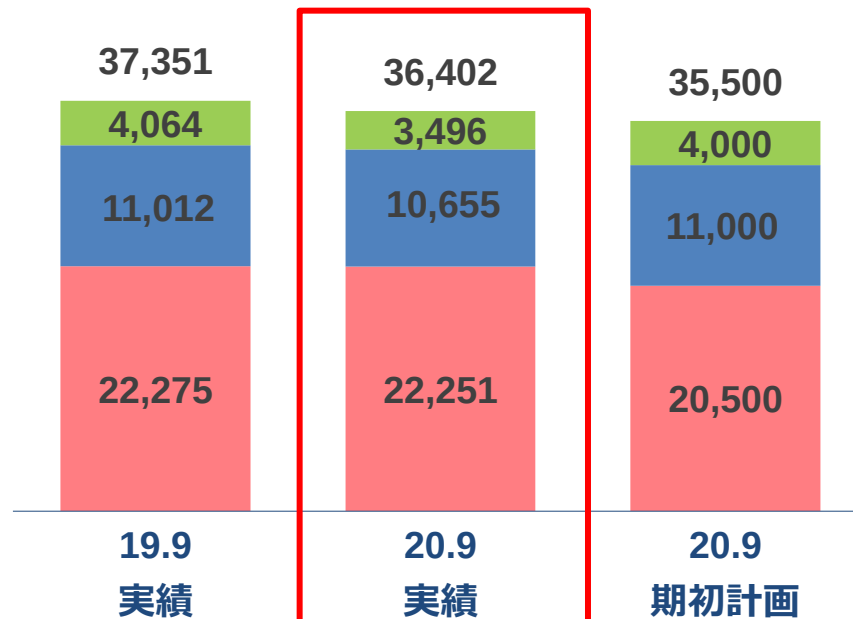
水エンジニア事業 部門別売上高

■ソリューション ■プラント



水エンジニア事業 顧客別売上高

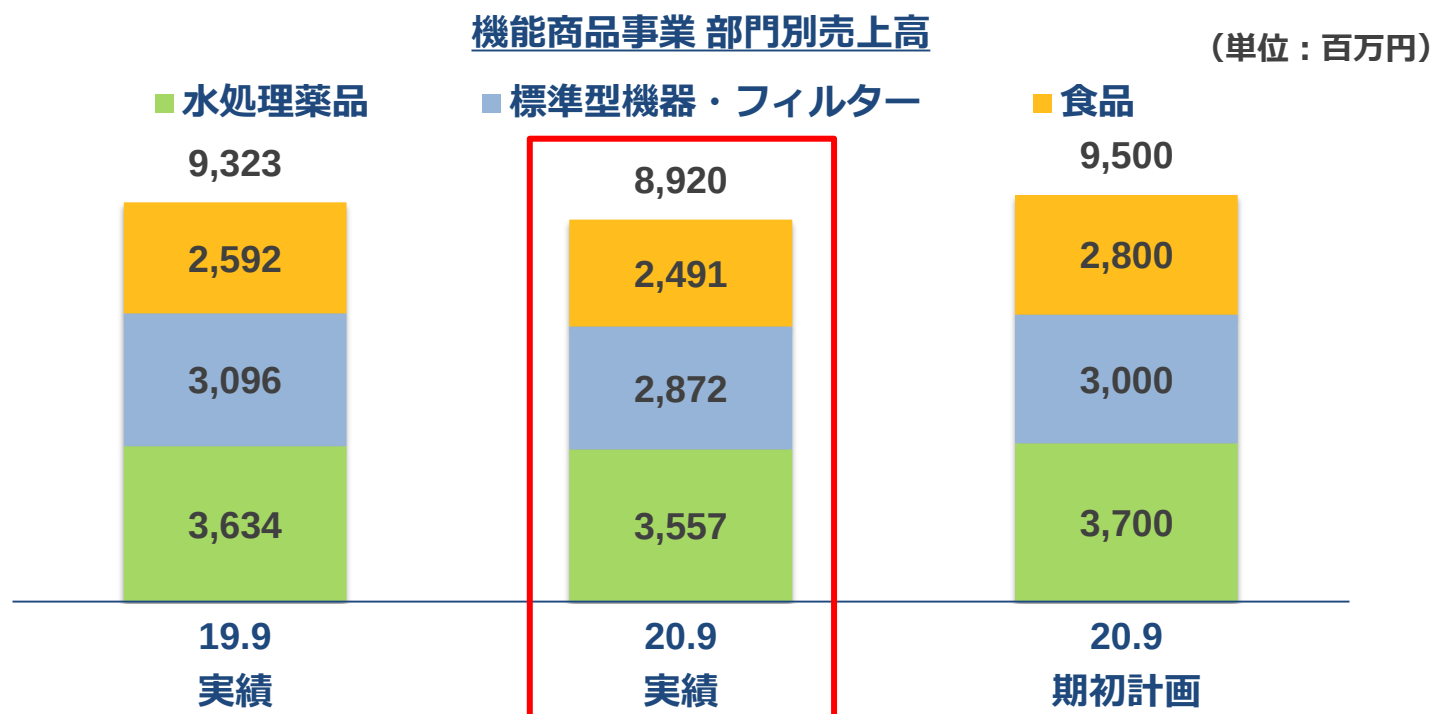
■電子産業 ■一般産業 ■電力・上下水



21年3月期上期実績：機能商品事業の状況

- 機能商品はコロナ禍の影響により各分野とも減少

除菌効果のある機能水（微酸性電解水）「オルプラス」が好調も、自動車・外食産業、一般診療・検診分野などコロナ禍の影響が大きい市場向けの売上が減少したことが影響し各分野とも減速



目 次

- 1. 2021年3月期 上期実績
- 2. 2021年3月期 通期見込
- 3. TOPICS
- 4. 会社概要

21年3月期通期見込：見込の前提

電子産業 分野

- ・ 半導体需要は堅調に推移
 - ・ 5G通信の本格化など明るい材料も
-
- ・ 米中半導体摩擦の影響で先行きに不透明感
 - ・ 中国だけでなく、国内・台湾の顧客にも影響
 - ・ 投資計画の抑制や延期等の影響を懸念
- ⇒現時点では計画案件の大幅な延期や中止等の動きなし。国内外の受注済の案件についても順調に工事が進捗

21年3月期通期見込：見込の前提

一般産業 分野

- ・ 国内外で投資の抑制傾向が続く想定

電力・上下水 分野

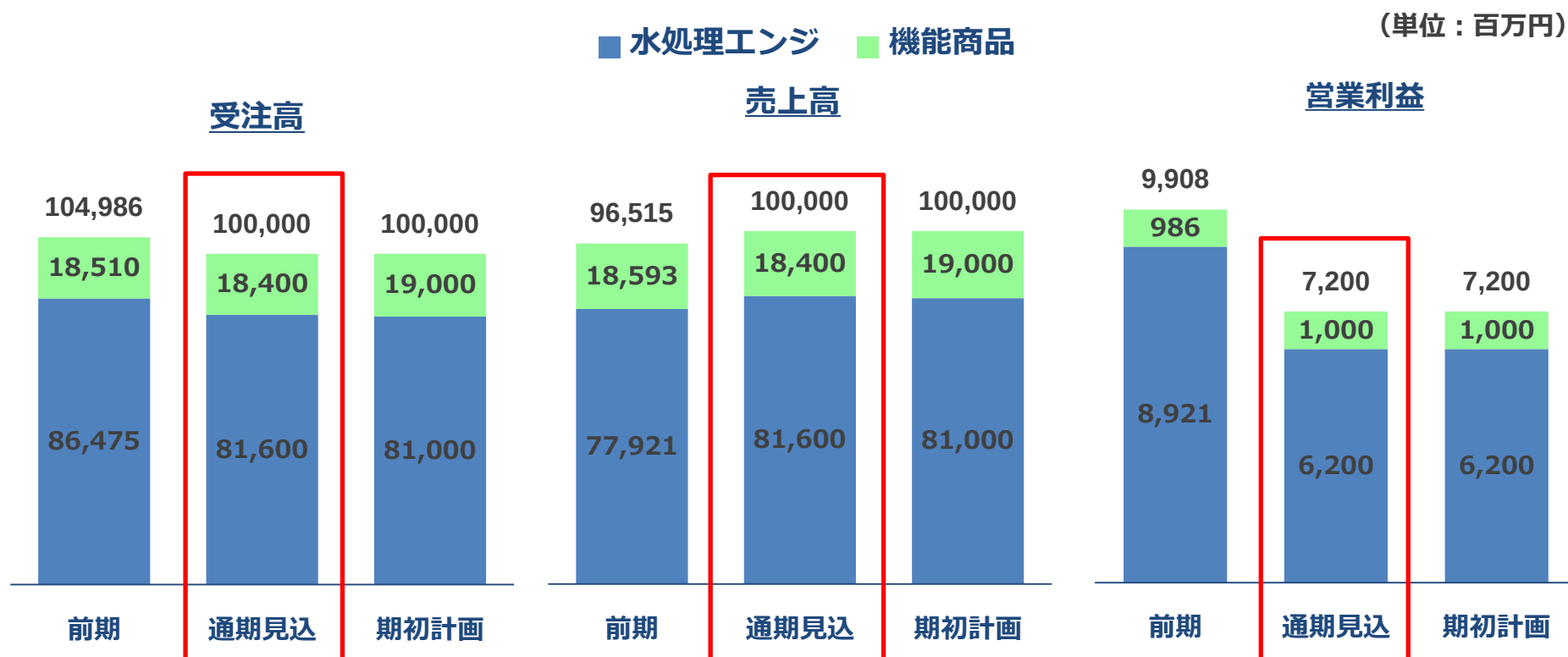
- ・ 電力・上下水分野は影響なし
前年並の水準を想定

機能商品 事業

- ・ 自動車・外食、一般診療・検診など
コロナ禍の影響が大きい分野の販売減少
が続く想定

21年3月期通期見込：概況

- ・ 受注高は水処理エンジニアが電子産業の拡大で伸長。期初計画達成を見込む
- ・ 売上高は機能商品が減少も水処理エンジニア拡大で初の1,000億円達成を見込む
- ・ 営業利益は計画並を想定、過去最高だった前期に続き高水準の利益を見込む



21年3月期通期見込：損益計算書

(単位：百万円)	20.3 実績	21.3 見込	期初計画	前期差	計画差
受注高	104,986	100,000	100,000	-4,986	0
売上高	96,515	100,000	100,000	3,484	0
売上総利益 (%)	27,282 28.3%	25,600 25.6%	25,600 25.6%	-1,682 -2.7pt	0 0.0pt
販管費	17,374	18,400	18,400	1,025	0
営業利益 (%)	9,908 10.3%	7,200 7.2%	7,200 7.2%	-2,708 -3.1pt	0 0.0pt
経常利益	9,929	7,100	7,100	-2,829	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,162	4,700	4,700	-2,462	0

21年3月期通期見込：受注高

- 電子産業分野は台湾など海外が好調

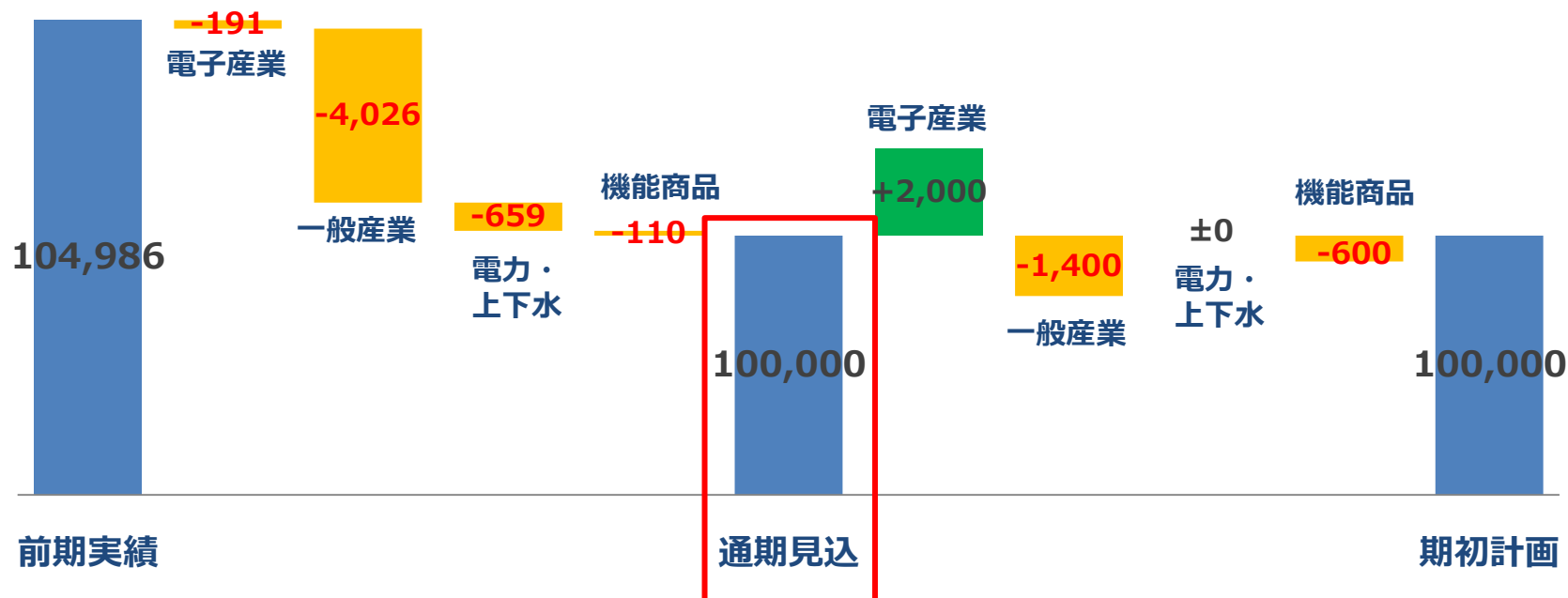
台湾での先端半導体投資に加え、中国も半導体投資が回復

- 一般産業分野は国内中心に受注減少見込む

コロナ禍での投資抑制に加え、大型案件があった前期と比較し大きく減少

21.3期受注高 前期差・計画差

(単位：百万円)

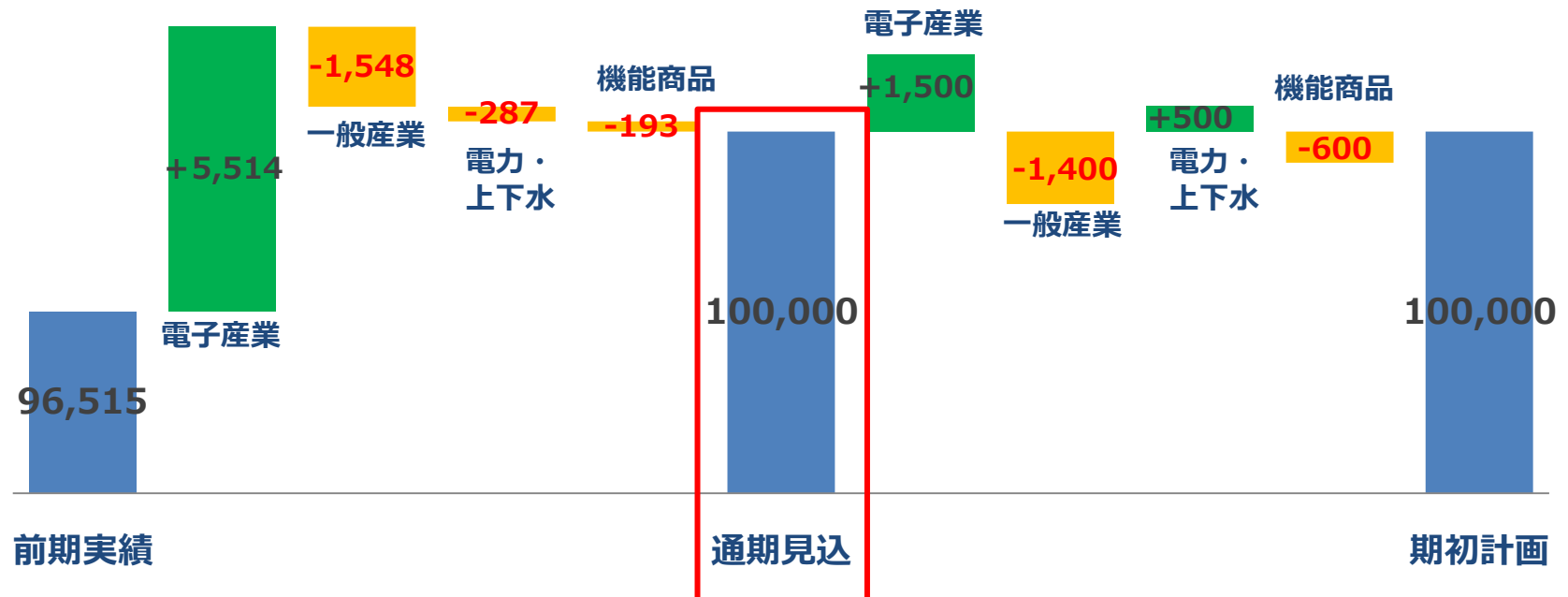


21年3月期通期見込：売上高

- ・ 電子産業分野は国内の売上増に加え、台湾など海外も伸長
国内では大型案件の売上が下期に本格化、台湾も受注増で売上拡大
- ・ 一般産業分野は国内中心に売上の減少を見込む
ソリューションは堅調だが設備投資の抑制でプラント減少を見込む

21.3期売上高 前期差・計画差

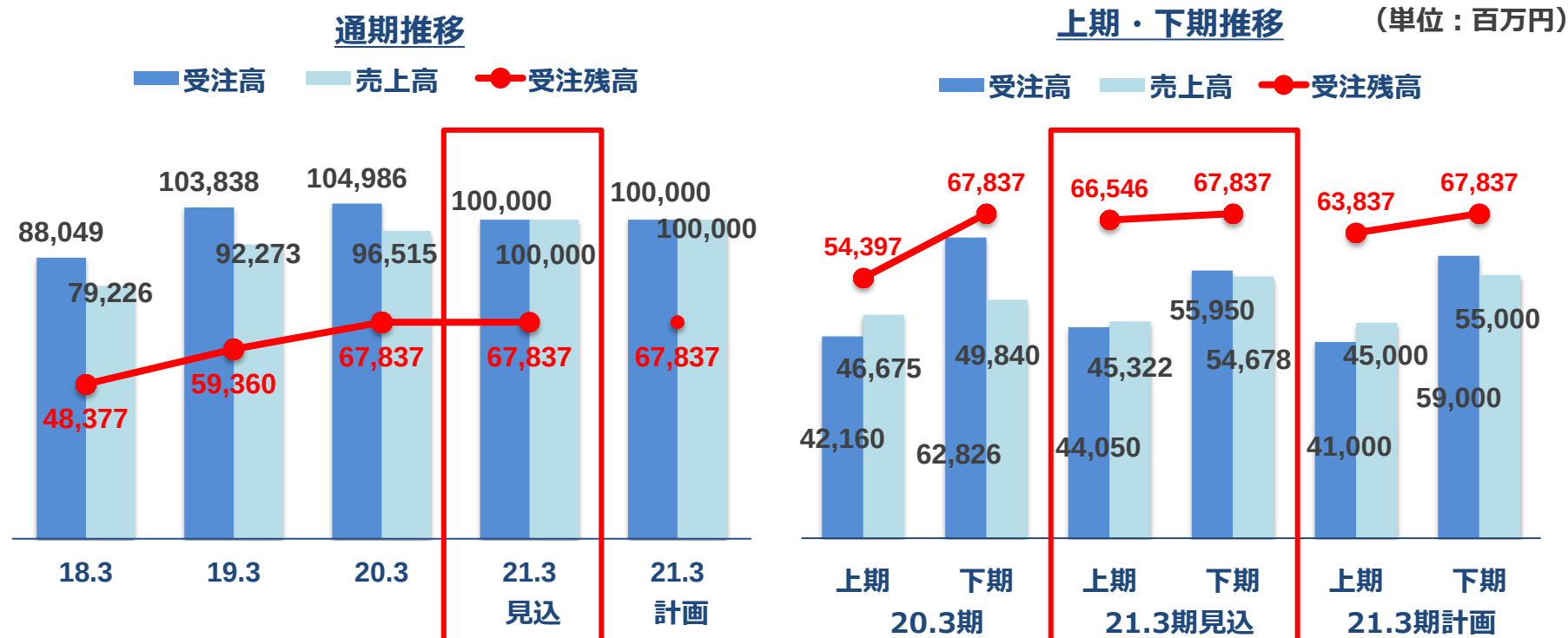
(単位：百万円)



21年3月期通期見込：受注残高の推移

・ 売上のベースとなる受注残は高水準で推移

コロナ禍に加え米中半導体摩擦の影響懸念あるが、
今後の売上のベースとなる受注残高は高水準を維持
受注計画を達成できれば来年度も当期並の売上を期待できる

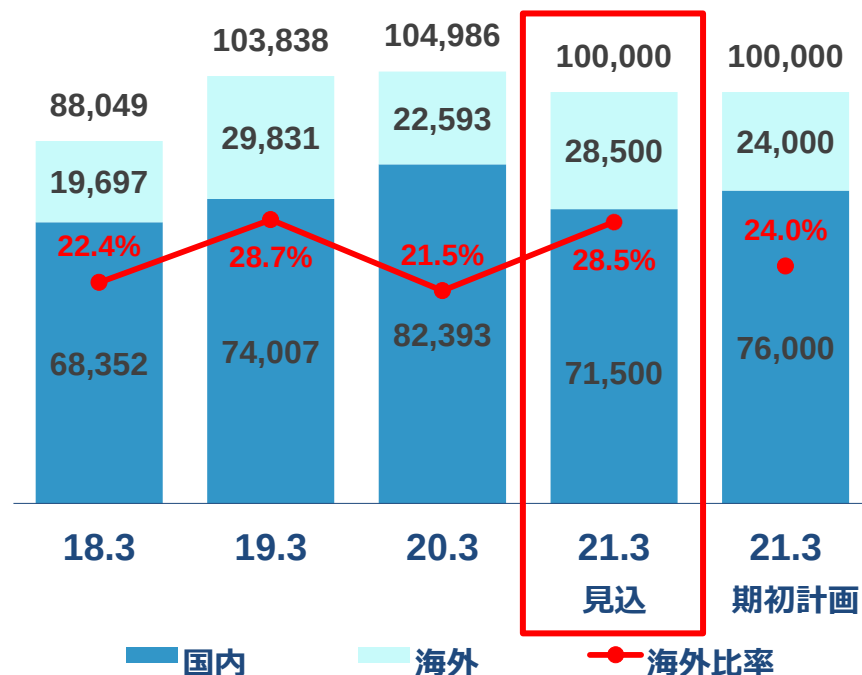


21年3月期通期見込：受注高の状況（地域別）

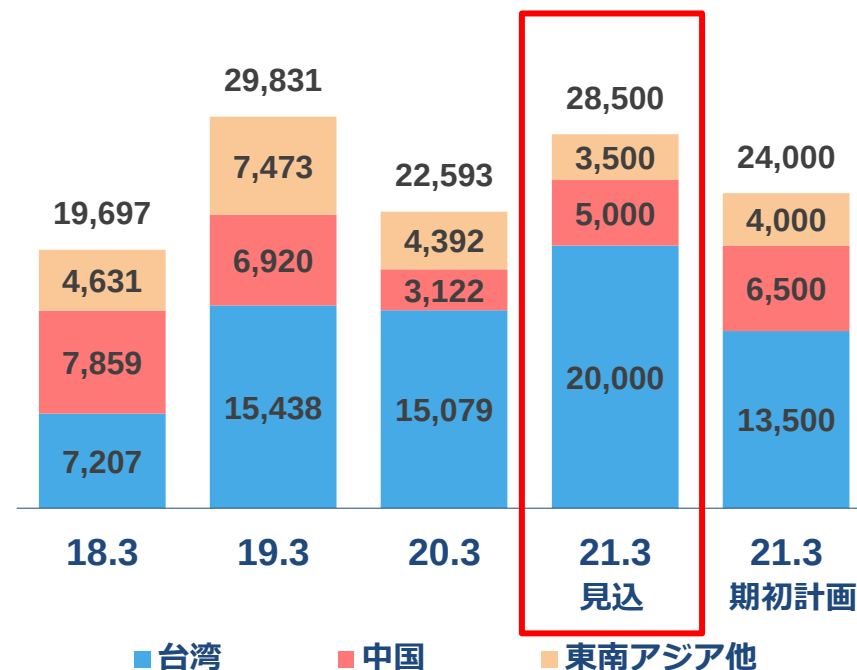
・受注高は国内減速も、好調な台湾が貢献し計画達成見込む

国内はコロナ禍による投資抑制や米中半導体摩擦の影響で減速を想定
海外は東南アジアが低調も、台湾が大幅に伸長。中国も前期比では回復

国内・海外別 通期受注高



海外 地域別 通期受注高 (単位：百万円)



21年3月期通期見込：売上高の状況（地域別）

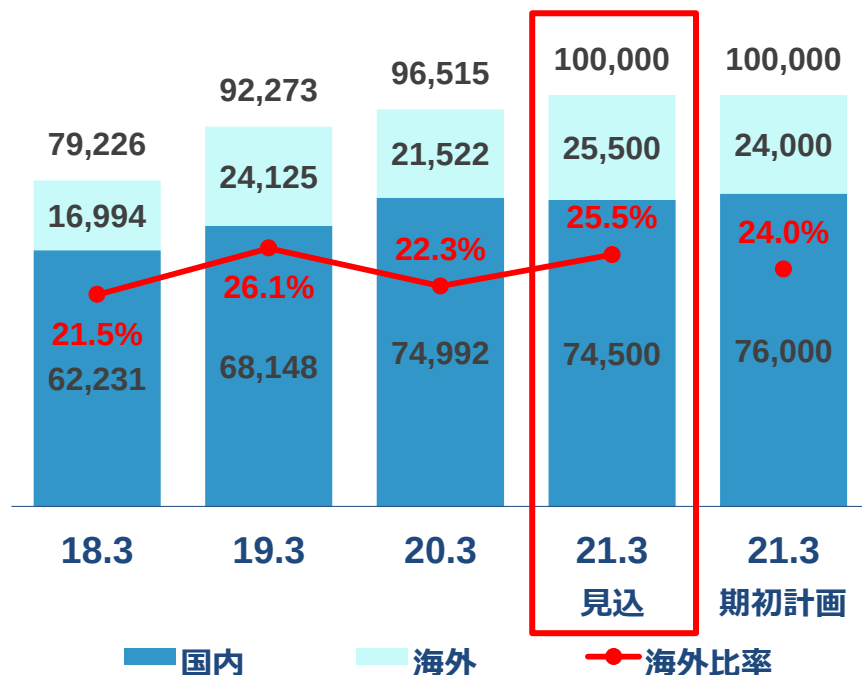
・売上高は国内が減少も、台湾中心に海外での伸長を想定

国内はコロナ禍による投資抑制が影響し売上の減少を想定

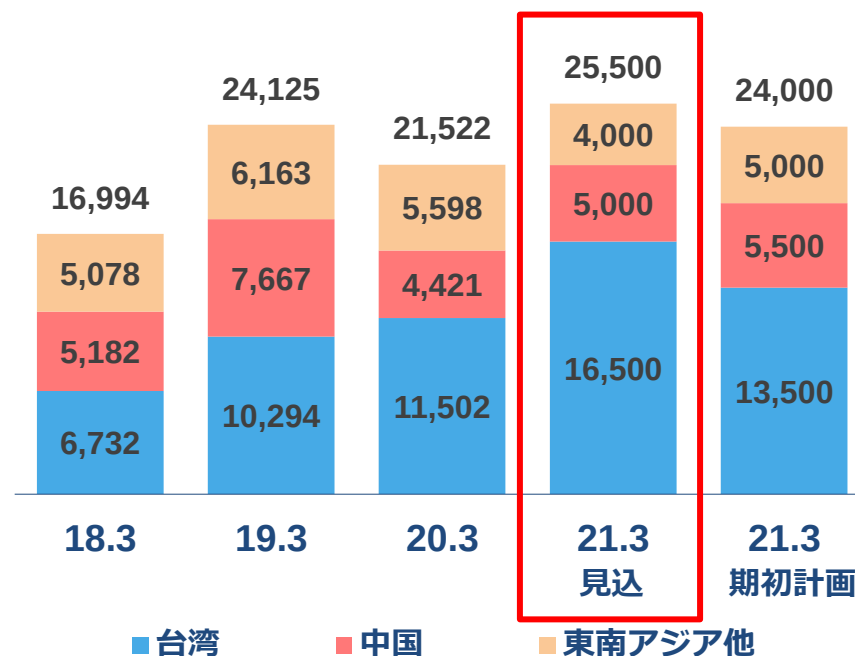
海外では半導体関連の投資活発な台湾を中心に売上の増加を見込む

（単位：百万円）

国内・海外別 通期売上高



海外 地域別 通期売上高

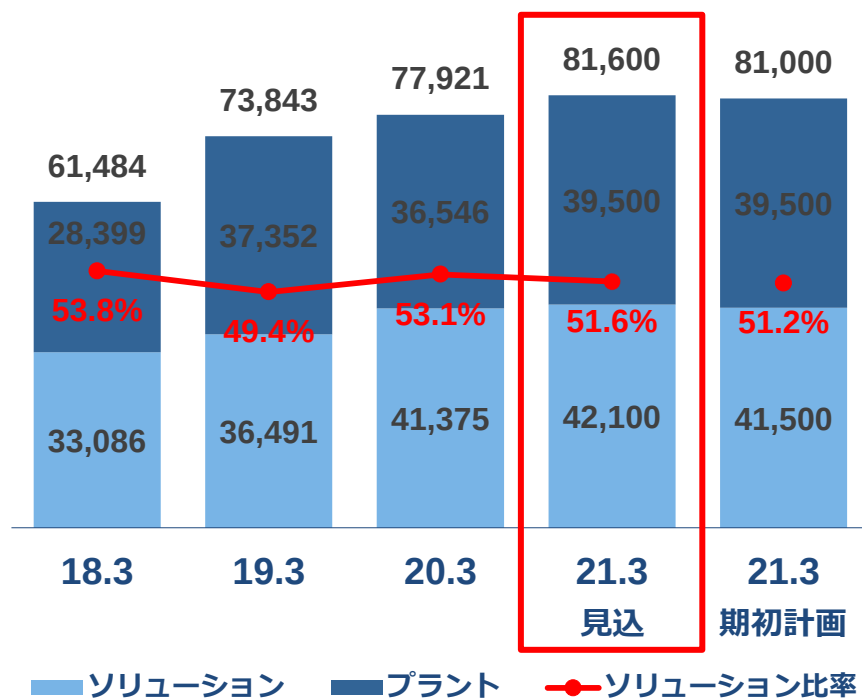


21年3月期通期見込：水処理エンジニア事業の状況

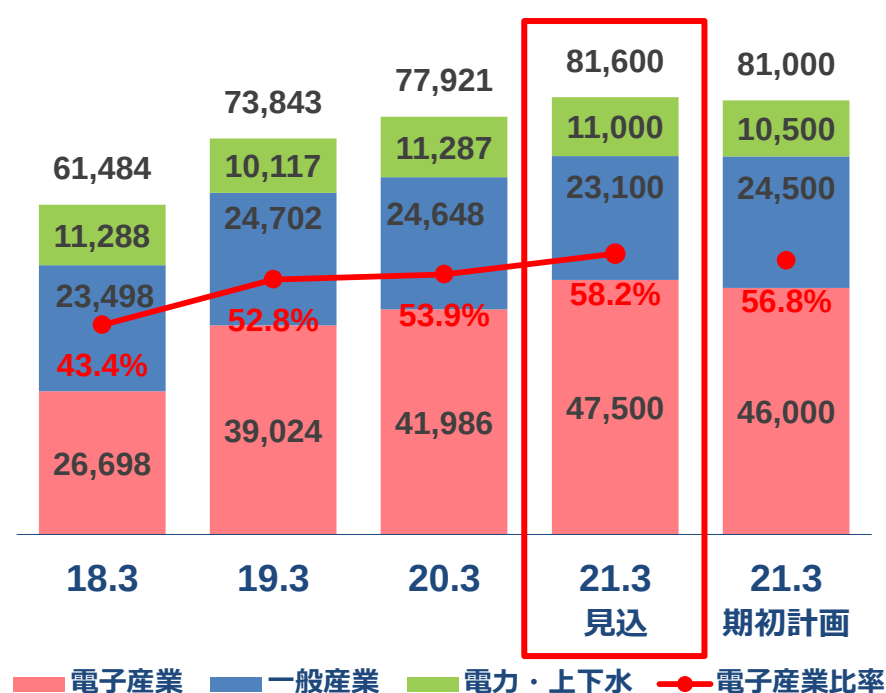
・ 電子産業分野の売上伸長で前期比・計画比増加を見込む

プラントは一般産業減少も電子産業が伸長して計画並を見込む
ソリューションは各分野とも堅調に推移、計画を上回る見込み

水エンジニア事業 部門別売上高



水エンジニア事業 顧客別売上高 (単位：百万円)



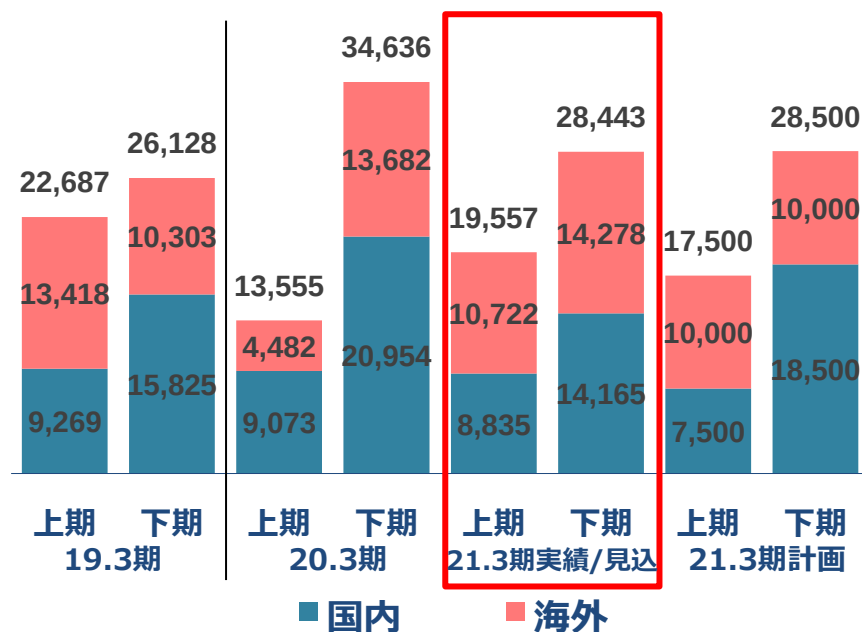
21年3月期通期見込：電子産業分野の状況（受注高）

・ 受注高は好調だった19.3期、20.3期に迫る水準を見込む

国内は下期に大型案件の受注を計画も設備投資の後ろ倒しを懸念

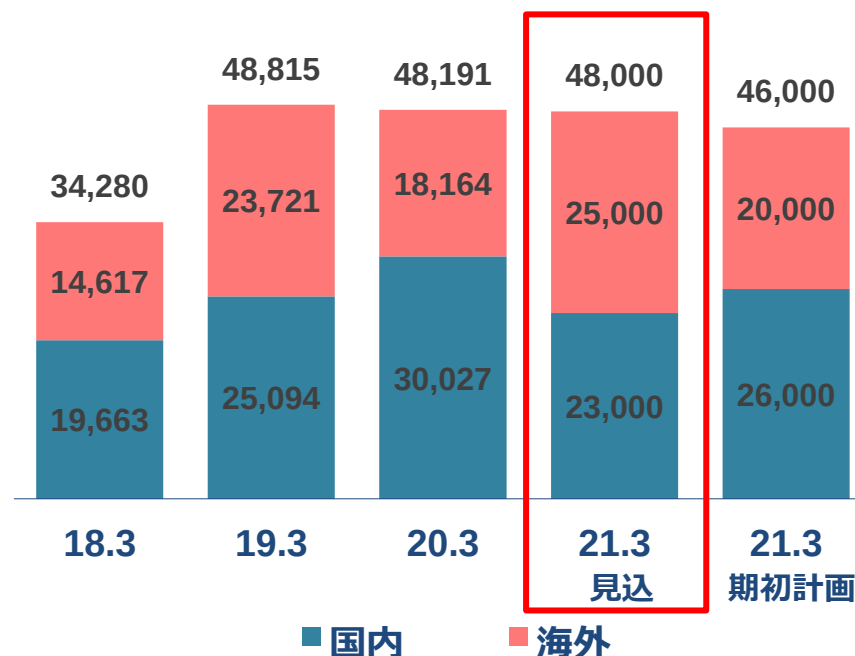
海外は台湾での投資が想定以上、期初計画を上回る受注を見込む

電子産業向け 受注高（上下別）



電子産業向け 受注高

（単位：百万円）



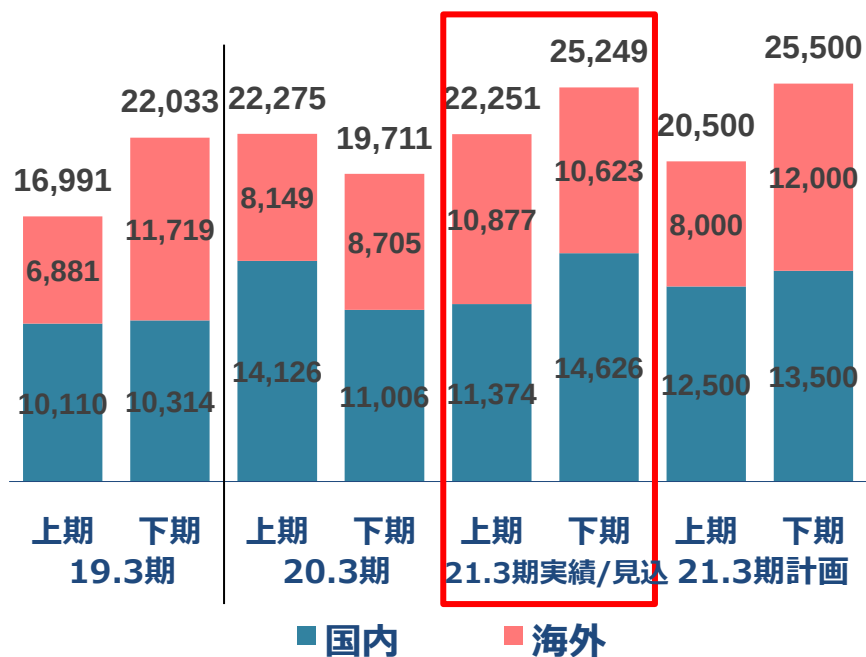
21年3月期通期見込：電子産業分野の状況（売上高）

- 売上高は台湾好調で前期比・計画比とも増加を見込む

国内は前期受注の大型案件の売上が下期から本格化

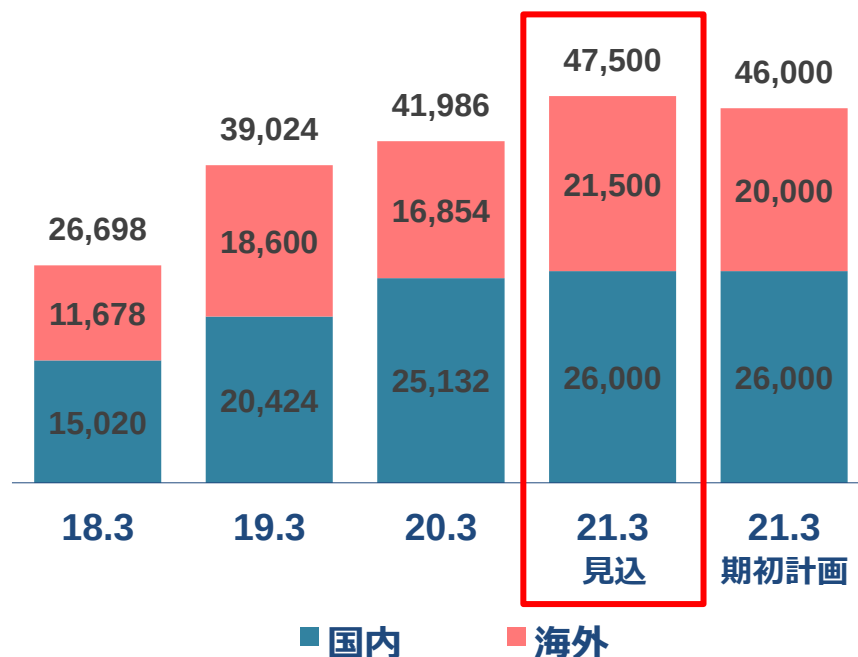
海外は台湾での大型案件受注が奏功、計画を上回り過去最高の売上を想定

電子産業向け 売上高（上下別）



電子産業向け 売上高

（単位：百万円）



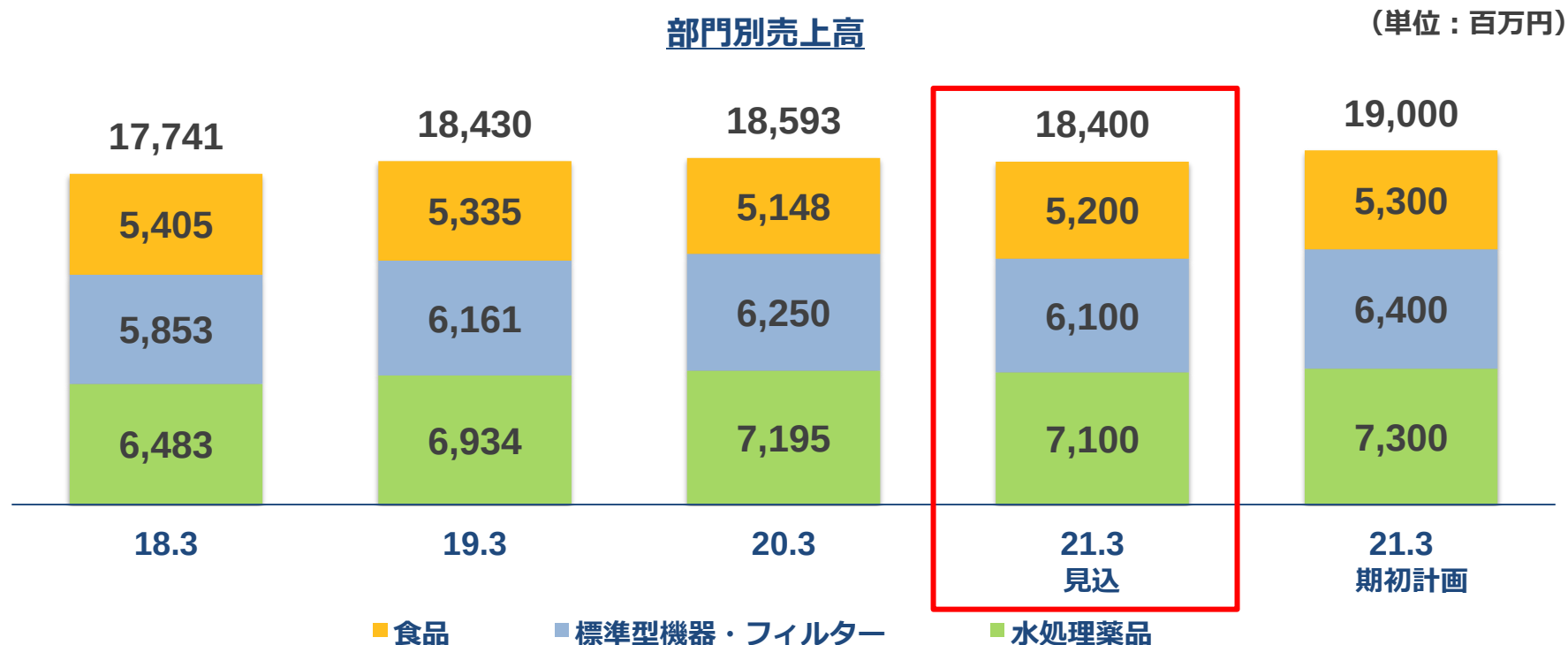
21年3月期通期見込：部門別売上高（機能商品事業）

- 機能商品は計画未達も、前期並水準の確保を目指す

分野によってコロナ禍からの回復動向はまだら模様

電子産業向けの水処理薬品などリカバリーが期待できる分野に注力し

前期並の売上水準の確保を目指す



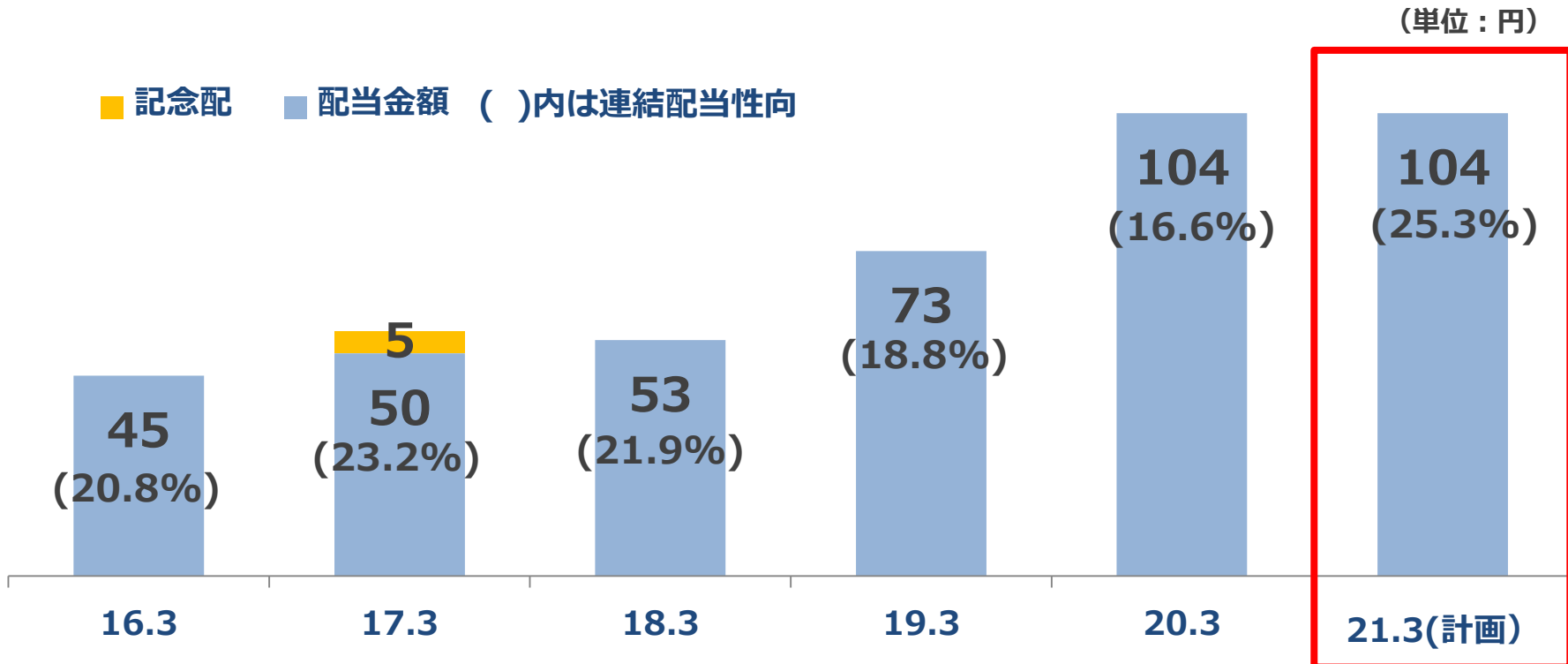
主な指標

	20年3月期 実績	21年3月期 見込	21年3月期 計画
設備投資額 (百万円)	965	(※) 1,400	1,400
技術研究費 (百万円)	2,178	2,350	2,350
減価償却費 (百万円)	1,189	1,200	1,200
有利子負債 (百万円)	9,740	17,000	20,000
従業員数 (人)	2,249	2,275	2,275
年間配当金 (円)	104	104	104
ROE (%)	12.4	7.5	7.5

(※) 28ページで紹介の開発センター投資は含めておりません

配当金の推移

- 21.3期は期初計画通りの配当実施を予定
- 安定的・継続的な配当の実施を基本方針としつつ、収益の状況に応じた利益配分に努める



目 次

- 1. 2021年3月期 上期実績
- 2. 2021年3月期 通期見込
- 3. TOPICS
- 4. 会社概要

TOPICS

開発センターに新実験棟を増設

- 電子産業向けの次世代型超純水装置や溶剤・薬液等の分離精製技術の研究開発に向け、2棟の新実験棟を開発センターに建設
- 中期計画で掲げる「電子産業分野の拡大」「新規事業の創出」のさらなる強化・加速を目的とする
- 投資総額は約30億円を計画、2022年4月の稼働開始を目指す



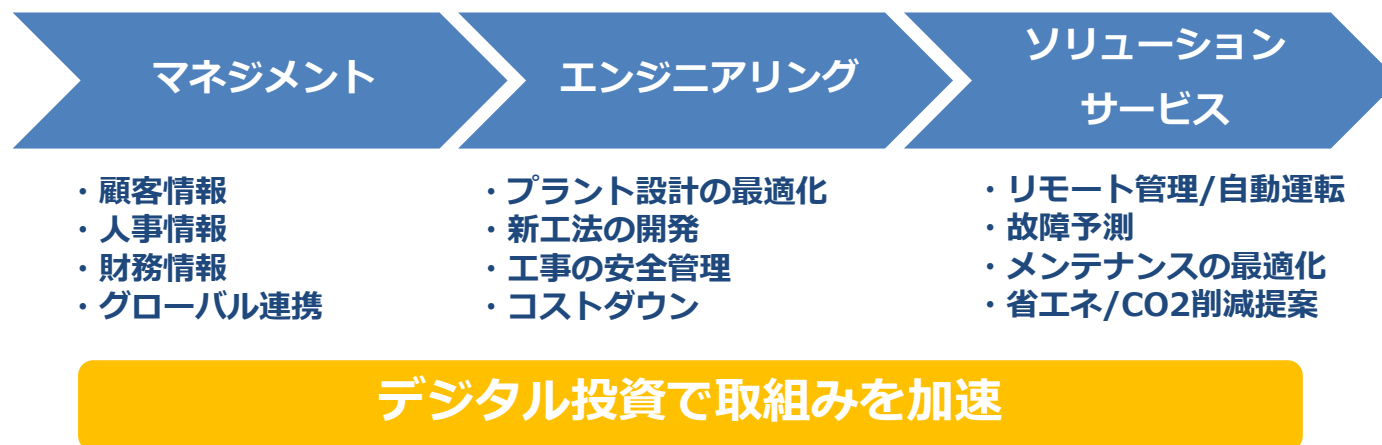
【新実験棟 建設イメージ】

TOPICS

デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速

■ 「攻め」と「守り」のDX投資を拡大

マネジメント・エンジニアリング・ソリューションサービスのデジタル化を進める体制を整備、デジタル化の推進を加速
攻めと守りの投資を行い新たな付加価値の創出につなげる



TOPICS

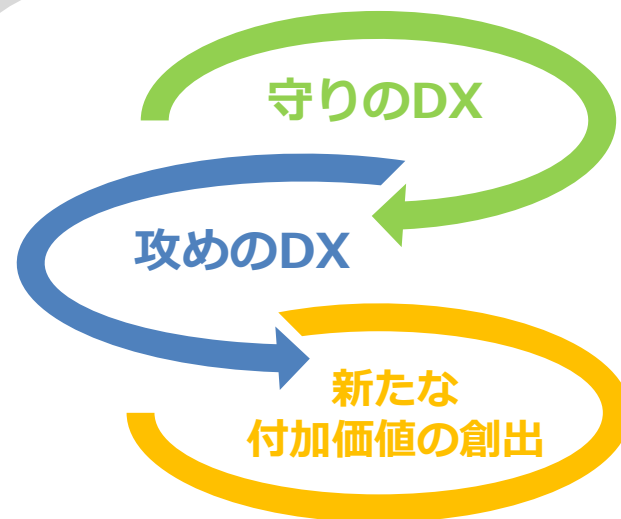
デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速

■守りのDX

- ・ オフィスや工事現場の基盤整備
- ・ ペーパーレス化や情報共有ツール導入による新しい働き方の推進
- ・ 財務・人事・マーケティング・営業・エンジニア・技術データの統合

■攻めのDX

- ・ エンジニアリングのICT化推進
- ・ 設備の運転データ等を収集・解析・活用する「データセンター」の設置
- ・ グローバルエンジニアリング体制の構築



エンジニアリングの
キャパシティ・収益性向上

新たな提案型ソリューション
サービスを展開

TOPICS

新型コロナ対策で「オルプラス」に注目

■ 微酸性電解水は感染症対策にも有効

微酸性電解水「オルプラス」はアルコールでは除菌効果が得られにくいウイルスにも有効。

食品添加剤としても認可されるなど安全性も高く、従来から食品の細菌・カビ・ウイルス等の除菌を目的に食品工場などで使用されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ノンアルコールの消毒剤として幅広い用途で注目されています。

※NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）により、有効塩素濃度35ppm以上の次亜塩素酸水による新型コロナウイルス消毒有効性が確認されています



【微酸性電解水 オルプラス】



【微酸性電解水生成装置】

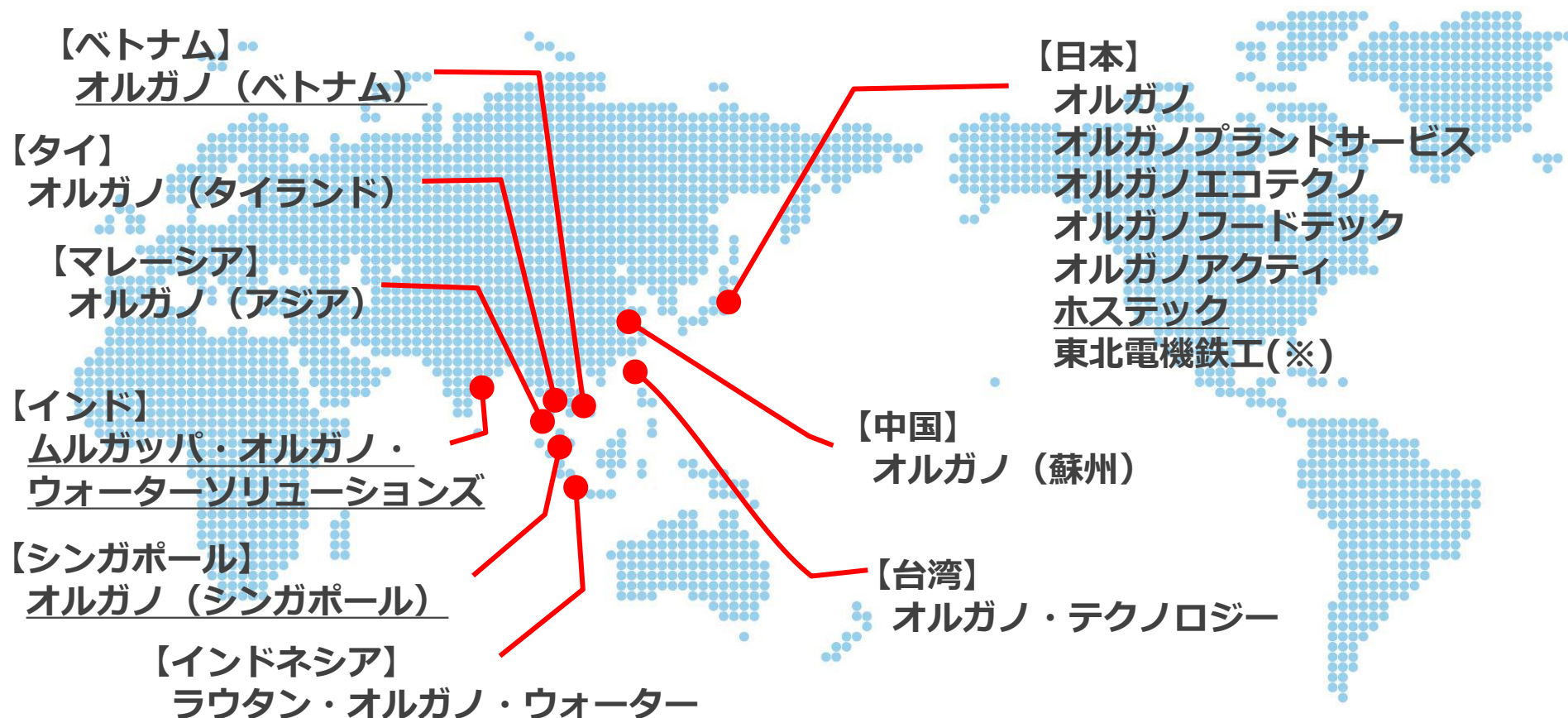
目 次

1. 2021年3月期 上期実績
2. 2021年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

会社概要

社 名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設 立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 内倉 昌樹		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,296名（連結） ※2020年9月30日現在		
主な 事業内容	水処理エンジ	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
	ニアリング事業	ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、 食品添加剤の製造販売
主な 事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

オルガノグループ各社



(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社

オルガノグループの歴史

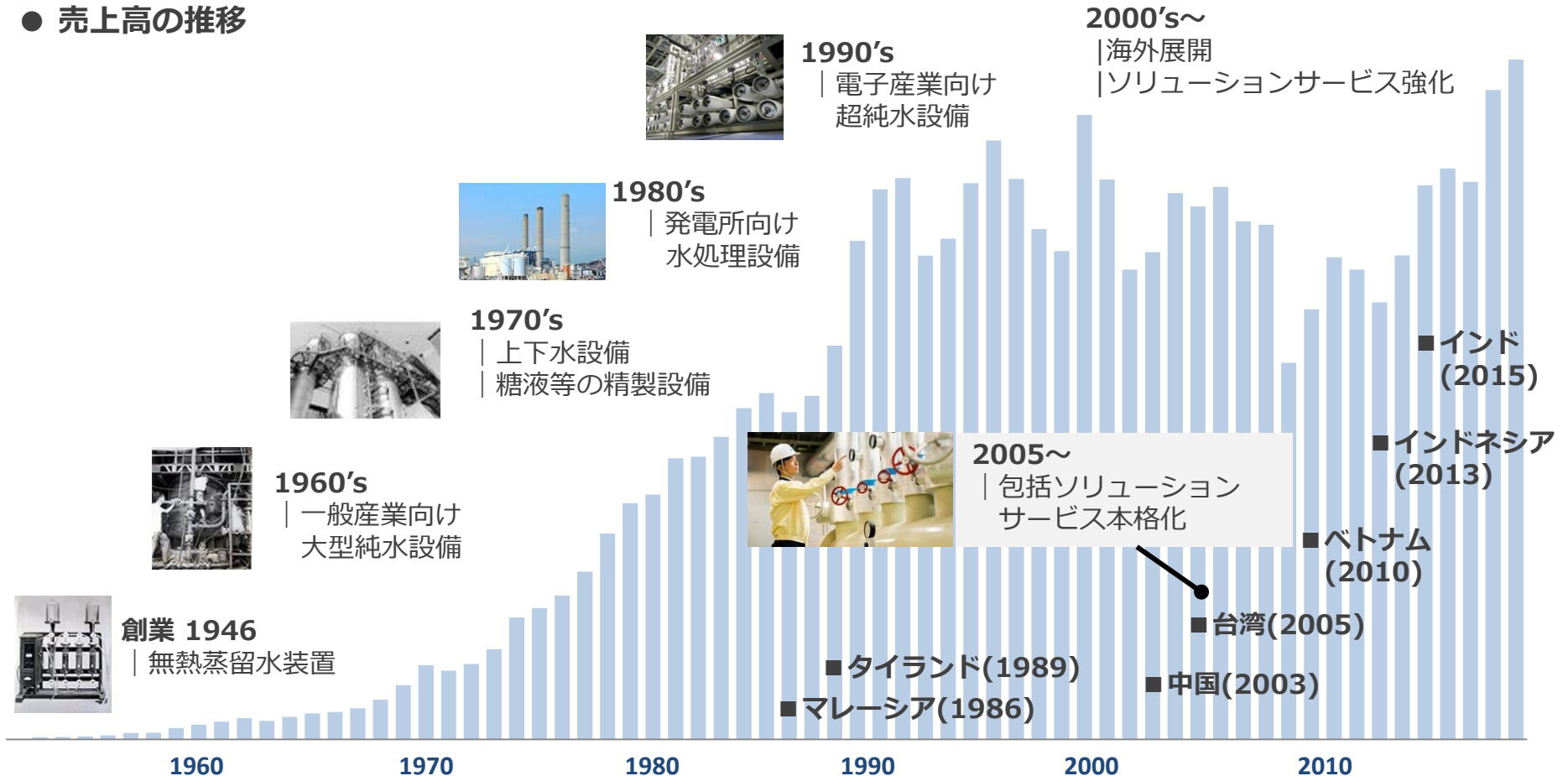
創業期

成長期

成熟期

再成長期

● 売上高の推移



オルガノグループの事業

水処理エンジニア事業

ソリューション
413億円



- 消耗品交換・メンテナンス
- 運転管理・包括メンテナンス
- 改造工事
- 水処理加工受託

2020.3期
売上高
779億円

プラント
365億円



- 純水・超純水設備
- 排水処理・回収設備
- 有価物回収設備
- プロセス関連設備

機能商品事業

食品加工材
51億円



- 食品添加剤
- 食品素材

標準型機器・フィルタ
62億円



- 純水・超純水装置
- 浄水フィルタ

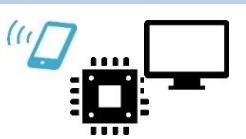
2020.3期
売上高
185億円

水処理薬品
71億円



- 排水・冷却水・洗浄・RO膜・ボイラ等処理剤

電子産業



- 半導体
- FPD
- 電子部品

電力/上下水



- 発電所
- 浄水場
- 下水処理場

一般産業



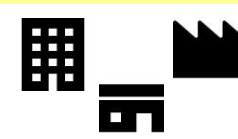
- 医薬/化粧品
- 食品/飲料
- 機械/化学

機器/フィルタ



- 医療/研究
- 各種製造業
- 飲食/コンビニ

水処理薬品



- 各種製造業
- ビル/商業施設

食品加工材



- 食品加工
- 飲料製造
- 介護/健食

お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>



オルガノ株式会社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。